

令和5年3月22日(水) 「教えて!!ドクターQ&A」

神奈川新聞① せきぜんそく

(質問) 40代女性です。ここ数年、季節の変わり目になるとせきが3週間くらい続き、病院を受診したところぜんそくと言われました。大人になってからぜんそくになることがあるのですか？

(回答) ふだんの診療で長引くせきを訴える患者さんはよく経験します。実際、ほとんどの呼吸器の病気がせきの原因となりますので、およそ2週間以上せきが続く場合は、肺がんや肺結核、肺炎などを見落とさないように、胸部X線検査を行うことが多いです。

長引くせきの原因には、呼吸器の病気以外にも、心臓の病気である心不全、消化器の病気である逆流性食道炎、耳鼻科の病気などがあります。また、高血圧などの薬が原因となってせきが続くこともあります。

さて、お尋ねの件ですが、ぜんそくの一つの型として、「せきぜんそく」というものが、近年注目されています。ふつうのぜんそくでは、発作のとき喘鳴(ぜんめい)といってヒューヒュー音がしたり、呼吸困難がおこったりしますが、「せきぜんそく」では、そのようなことはありません。そのかわり、かわいたせきが長期間続きます。

「せきぜんそく」の特徴として、気管支拡張薬という薬を使うことで、改善がみられます。ご質問者様は、季節の変わり目に症状がおこりやすいとのことですが、このような季節的な変動がしばしばみられることも特徴です。「せきぜんそく」発症はあらゆる年齢で見られますが、大人になってから発症する場合には、女性に多くみられます。

治療は、吸入ステロイドを用いた長期治療が中心となります。医師から指示された正しい使い方をすることが大切です。必要に応じて気管支拡張薬や抗アレルギー薬の投与も行います。「せきぜんそく」のなおりがたが不十分な場合、3割ほどはふつうのぜんそくに移行するといわれていますので、早めに治療されることをお勧めします。